



やさしい手通信 2018年 12月号

～介護人材の処遇改善～

10月31日、厚生労働省は社会保障審議会・介護給付費分科会において、来年10月の介護報酬改定の際に、介護職員の待遇を上げる手法について提案を行いました。

新しい経済政策パッケージ（抜粋）（平成29年12月8日閣議決定）

第2章 人づくり革命 5. 介護人材の処遇改善
 (具体的内容)
 人生100年時代において、介護は、誰もが直面し得る現実かつ喫緊の課題である。政府は、在宅・施設サービスの整備の加速化や介護休業を取得しやすい職場環境の整備など、これまで介護離職ゼロに向けた重層的な取組を進めてきたところである。安倍内閣は、2020年代初頭までに、50万人分の介護の受け皿を整備することとしているが、最大の課題は介護人材の確保である。介護人材を確保するため、2017年度予算においては、介護職員について、経験などに応じて昇給する仕組みを創り、月額平均1万円相当の処遇改善を行うなど、これまで自公政権で月額4万7000円の改善を実現してきたが、介護人材確保のための取組をより一層進めるため、**②経験・技能のある職員に重点化を図りながら、①介護職員の更なる処遇改善を進める。**

具体的には、他の介護職員などの処遇改善にこの処遇改善の収入を充てることができるよう**③柔軟な運用を認めること**を前提に、介護サービス事業所における勤続年数10年以上の介護福祉士について月額平均3万円相当の処遇改善を行うことを算定根拠に、公費1000億円程度を投じ、処遇改善を行う。

また、障害福祉人材についても、介護人材と同様の処遇改善を行う。

(実施時期)
 こうした処遇改善については、消費税率の引上げに伴う報酬改定において対応し、2019年10月から実施する。



注目ポイント

<経験・技能のある職員の考え方>

- 対象者の選び方について、定着促進等の観点から、10年以上の考え方について、**同一事業所、同一法人ではなく業界単位**で考えることにしても良いのではないかと。
- 経験年数を要件とする場合、事業開始後間もない事業者が不利にならないような対応が必要。
- 勤続年数の考え方について、**サービス提供体制強化加算Ⅲの算定要件**を参考にすることも必要ではないかと。
- また、介護職員からケアマネや相談員等に**配置転換した場合にも通算できるような仕組み**にして欲しい。
- 経験・技能のある職員について、技能の考え方について検討する必要があるのではないかと。技能については、マネジメントスキルという面もあるのではないかと。
- 経験や技能を判断するに当たり、保有資格や年数だけでなく、**事業所内での役割や質の高いサービス**につながっているかという点も考慮できないかと。

<加算での対応について>

- 介護離職ゼロの趣旨については理解するが、処遇改善は、本来は経営努力や労使間の調整で行うものであり、特定の職種で実施するのであれば、税で対応するものではないかと。保険者側の意見を十分に聞いていただいたものではないのではないかと。
- 介護職員の更なる処遇改善を行うに当たっては、保険料負担も生じるため、保険者側のある程度のコンセンサスも必要ではないかと。
- 処遇改善を加算で行う意義等は何か。中長期的な視点では、加算で行うのか、交付金で行うのかどちらが良いのか、議論が必要ではないかと。
- 過去には税財源を活用し交付金で行っていたが、途中から保険料が使われることになった。当初反対でしたが、議論の結果、加算で行うことになったと理解している。
- 基本的な方針については異論ないが、現行の処遇改善加算と今般の更なる処遇改善の財源は別であり、更なる処遇改善は、介護報酬とは別途の財源が基本と考えている。分科会で議論する前から、保険料を使うことが実質的には決まっていることに違和感がある。
- 利用者の負担が増えることがわかった。利用者負担が3割までになったことも負担になっているが、そこまでの増ではないと思っている。介護職員のために、増えることも仕方ないということで、利用者側もコンセンサス得られるだろう。今回の対応は歓迎したい。
- 賃金は本来労使間で決定すべき話であり、今回の措置も、例外的かつ経過的な取扱いであり、恒久的ではないと、明文化して欲しい。
- 別の加算で対応する場合、すでに多くの加算があり報酬が複雑化しているので、**算定率が低いものなどについて簡素化した上で導入すべき。**

今後の社会保障審議会・介護給付費分科会に注目！！

- ① クリスマスケーキを広めたのはどこ？ A:不二家 B:ケンタッキー C:コージコーナー
② クリスマスツリーの上に飾るものは？ A:リンゴ B:星 C:リボン
③ 空飛ぶそりを引くトナカイは何匹？ A:7匹 B:8匹 C:9匹
④ 日本で初めてクリスマスを行ったのはどこ？ A:東京都 B:山口県 C:長崎県
⑤ サンタクロースの赤と白のイメージを広めた企業はどこ？ A:コカ・コーラ B:ペプシ C:マクドナルド

クリスマス スペシャルメニュー

★★クリスマスツリーのようなブロッコリーのクリームポテト



【材料:2人分】

- じゃがいも・・・中2個
ブロッコリー・・・1/3
パプリカ(赤)・・・1/8個
パプリカ(黄)・・・1/8個
ベビーチーズ・・・1個
★水・・・1/2カップ ★牛乳・・・大きじ2



じゃがいもは皮をむいて5mm厚さの薄切りにする。
お鍋に水とじゃがいもを入れて、フタをして火にかけ、沸騰後弱火で5分ほどじゃがいもが柔らかくなるまで煮る。



じゃがいもに火が通ったら、刻んだブロッコリーを加え、蓋をして1～2分煮る。
フタを取って余分な水を捨て、じゃがいもをすりこぎなどでつぶす。



牛乳を加えて、水っぽいようなら、火を中火にして、ぽてととするまで水分を飛ばす。
パプリカと、小さくちぎったベビーチーズを入れて更に混ぜる。



やさしい手仙台ケアセンター宮城野

ホームページ <http://www.yasashiite-sendai.jp>

TEL 388-8221 FAX 388-8222



【ホームページ】

